



ロゴガイドライン

2022年12月29日制定

1. コンセプト

象形文字にした「東」を用いることで、パッと見て「東雲研究所」である認知してもらうことを目的としてデザインしています。
全体囲う六角形は”六方に恵みが続く”と言われる亀甲紋を用いながら、スローガンとして掲げている「あなたの独創をお手伝い」をバランスよく行えるチャートとしても表現しています。



シンボルマーク

東雲研究所

ロゴタイプ

ロゴマークの単独使用

ロゴマークもしくはロゴタイプの単独使用は原則として認められません。

ただし、アイコン等ですでに既存フォーマット化されている場合、認知可能なサイズであれば使用することができます。

2. 周囲の余白

他要素によって視認性が損なわれるのを防ぐために、余白を設けます。

この領域内には、いかなる要素も配置することができません。



余白の比率

a:b:c = 10:4:2 (a を 100% とした時、b は 40%、c は 20% 縮小とする。)

3. バリエーションとカラー

基本のご利用はカラーのものに、背景に白地を設けることを推奨しています。

カラー表現以外にネガ表現（反転）および、モノクロ表現（CMYK：K=100%）をすることが可能です。

ネガ表現の場合、背景色は黒以外でも可能です。

■カラー表現(メイン)



■モノクロ表現



■ネガ表現



キーカラー
東雲色
#f19072

Pantone 1635C
RGB R241 G144 B114
CMYK C5% M56% Y51% K0%



ブラック
#000000

Pantone Hexachrome Black C
RGB R0 G0 B0
CMYK C0% M0% Y0% K100%

4. ロゴの使用禁止例

ロゴはブランドイメージが正しく認知されるよう、改変を禁止しています。

禁止例のように、ロゴを加工することはブランドの印象を著しく損なうため、正しく利用してください。



潰す、伸ばすなど、変形して利用しない



指定余白内に視認性を損なう要素を入れない



指定されたロゴの濃度を変更しない



回転して利用しない



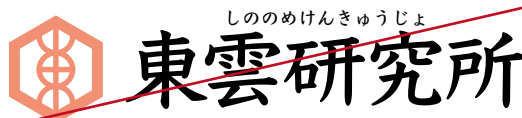
影をつけて利用しない



フォントを変更して利用しない



指定以外の色を利用しない



指定余白内に文字などの別要素を入れない



シンボルとタイプの配置を変えない

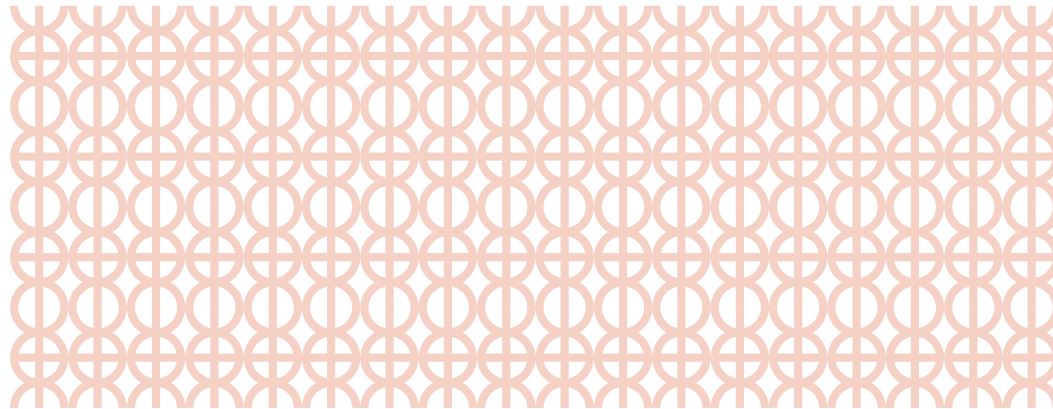
5. パターン展開

シンボルマークの「東」の象形文字を模した形を、ブランド認知向上のために利用できます。
基本図形を、隙間なく上下左右に繰り返して利用してください。

■基本図形



■パターン展開



パターンの制約

カラーはユーザーの認知向上を妨げないよう**東雲色**、**ブラック**、**白**のみ利用可とし、透明度は自由に変更できます。
なお、縦横比を保っていればサイズの制限はありません。